

章	5	身近な環境に配慮した、地球にやさしいまち
大項目	02	快適環境の保全と創出
施策	01	環境施策の総合的展開と推進

**目的**

区民、事業者、様々な団体等との連携により、環境基本計画を推進します。環境白書によって環境基本計画の進捗状況を点検するとともに、環境白書の報告会を開催して、環境保全の取組みについて普及啓発を図ります。

**対象・手段**

環境白書報告会を通して、環境配慮行動の普及を図るとともに、環境基本計画の進行管理をします。白書報告会の中で問題点が出てきた場合には、ワークショップを開いて検討し、パネルディスカッションを行います。ワークショップでの検討結果について区民等から広く意見を聞くため、シンポジウムを開催します。

**施策の方向**

環境白書の作成と報告会の開催により、環境基本計画を着実に推進し、環境施策の総合的展開を図ります。

**基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況**

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
環境保全活動団体数 (団体)	(平成10年度) -	(平成19年度) 200団体	(平成19年度) 60団体	目標に対して30%の達成状況です。

指標名の定義：環境保全活動に携わる団体の数

**成果指標**

指標名	定義	目標水準				
環境白書の作成	環境白書の作成	( 毎 ) 年度に ( 1回 ) の水準達成				
環境白書報告会の開催	環境白書報告会「環境白書を読む会」の開催	( 毎 ) 年度に ( 2回 ) の水準達成				
		( ) 年度に ( ) の水準達成				
施策の達成状況						
	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
施策成果指標	目標値1	回	1.00	1.00	1.00	
	実績1	回	1.00	1.00	1.00	
	目標達成率1 = /	%	100.00	100.00	100.00	
	目標値2	回	1.00	1.00	2.00	
	実績2	回	1.00	1.00	2.00	
	目標達成率2 = /	%	100.00	100.00	100.00	
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

所管部	環境清掃部
-----	-------

**主な取組み**

毎年度1回、環境白書を作成  
 毎年度2回、環境白書報告会を開催  
 必要に応じて、ワークショップ、シンポジウムを開催

**課題**

区民・事業者・NPO等と連携、協働して環境基本計画の進行管理、見直しを行っていく必要があるため、開催回数や開催時間を考慮して、「環境白書を読む会」への参加者をさらに増やしていくことが課題です。

**評価**

総合評価	
<p>総合評価をBとした理由は、環境基本計画に掲げられた目標を達成するための環境白書を作成し、その進捗状況を公表し、「環境白書を読む会」を2回開催したからです。</p> <p>サービスの負担と担い手          区民・事業者・NPO等と連携、協働して、環境基本計画の進捗状況を把握する必要があるため、区が行います。</p> <p>適切な目標設定          環境基本計画の進捗状況を点検するとともに、環境保全の取り組みについて普及啓発を図っていくために、環境白書の作成と報告会により区民等から広く意見を聞くことが必要です。</p> <p>効果的・効率的な視点          他の啓発冊子との整理・統合を図り、環境基本計画の進捗状況を点検するツールとしてより分かりやすくし、費用対効果の面からも向上しています。</p> <p>目的の達成度          環境基本計画の進捗状況を把握するため、新宿区の施策や区民・事業者・NPOなどの取り組みを環境白書として取りまとめ、「環境白書を読む会」として環境白書報告会とシンポジウムを兼ねた会を開催し、目標を達成しました。</p>	B

**今後の取組み・改革の方針**

環境白書の無償頒布、ホームページ上での公開、区民・事業者等を交えた報告会などにより環境施策を広く公表していきます。  
 また、平成19年度に環境基本計画（改定）を策定しましたので、区民等へ改定した環境施策内容を広く公表し、「環境白書を読む会」への参加者を増やしていきます。  
 この施策は、新宿区総合計画の基本施策「 - 1 - 環境問題への意識啓発」に引き継いで取り組んでいきます。

**施策を構成する計画事業**

	総合評価	頁	総合評価	頁
環境白書の作成と報告会の開催	B	280		